

加西市消費者生活相談窓口にて平成 28 年度中に寄せられた相談件数（商品等への苦情・問い合わせ）は、262 件でした。相談内容は、年代を問わず「アダルトサイトや有料動画サイトの架空請求」の相談が多く（44 件）、特に 70 歳代以上は「訪問販売・電話勧誘」（健康食品やふとん）の相談が多い状況です。

一人で判断せず、加西市消費生活相談窓口（アスティアかさい 3 階）や市役所に相談するようにしましょう。

相談先 消費生活相談窓口 ☎ 42-8739
（月火木金 9:00～16:30 ※祝日除く）

■相談件数（年間）

年度	件数
24	187
25	265
26	275
27	273
28	262

■傾向

- ・年代別では 60 歳代以上の相談が 102 件で、全体の約 4 割を占め、20・30 歳代の相談が前年度比で 3 割増加。
- ・高齢者をねらった詐欺が常に横行し、若者や女性の携帯電話トラブルも増加しています。

■平成 28 年度性別・年齢別件数 ※（ ）内は前年度

年齢	男	女	計
20 歳未満	3 (8)	3 (3)	6 (11)
20 歳代	12 (8)	4 (4)	16 (12)
30 歳代	17 (18)	21 (11)	38 (29)
40 歳代	8 (20)	23 (11)	31 (31)
50 歳代	18 (14)	11 (16)	29 (30)
60 歳代	21 (23)	17 (27)	38 (50)
70 歳代	31 (24)	33 (42)	64 (66)
不明	10 (13)	12 (7)	22 (20)
計	120 (128)	124 (121)	244 (249)

※個人以外に事業所から 18 件（24 件）ありました。

■消費生活トラブルの対策

- ・高齢者はできるだけ一人にせず、こまめに見守りし、家の中の変化に注意を払うようにしましょう。
- ・携帯電話の架空請求に関しては、慌ててお金を振り込むなど自ら解決しようとせず、様子を見て相談してください。
- ・平成 29 年度は特に光回線の契約・架空請求・マルチ商法・通販トラブルに注意が必要です。

歩いてもらう健幸ポイントの参加者を募集

問合先／健康課（健康福祉会館内）☎42-8723
FAX42-7521 kenko@city.kasai.lg.jp

加西市は市民が健康で幸せなまち（健幸都市）を目指し、歩く等の運動をするとポイント（1 ポイント 1 円相当、5 か月間で最大 10,000 ポイント）が貯まる「平成 29 年度運動ポイント事業」を行います。健やかで幸せな暮らしのため、自分にあった運動を始めてみませんか。貯まったポイントは、商店連合会のためきの満点カードと交換できます。

■対象／市内在住の 40 歳以上（昭和 53 年 4 月 1 日以前生まれ）で、申込後に下記の説明会に出席できる方

■定員／500 人 ※多数の場合は抽選（平成 28 年度に抽選から漏れた方を優先します）

■参加費／500 円

■申込／応募用紙（広報かさい 6 月号と共に配布）に記入のうえ、健康課へ持参してください。

■募集期間／6 月 1 日（木）～7 月 31 日（月）

■ポイント付与内容（例）

- ①歩いた歩数 ②指定の講座やイベントなどに参加
- ③ BMI、内臓脂肪などを改善

■ポイント付与対象期間

10 月 1 日（日）～平成 30 年 2 月 28 日（水）

■説明会の日時（いずれか 1 回、場所は健康福祉会館）

- 9 月 13 日（水）① 14:00～ ② 19:00～
- 9 月 16 日（土）③ 14:00～ ④ 19:00～
- 9 月 21 日（木）⑤ 10:00～ ⑥ 14:00～
- 9 月 24 日（日）⑦ 10:00～ ⑧ 14:00～
- 9 月 25 日（月）⑨ 10:00～ ⑩ 14:00～

運動教室

①自主活動応援教室

簡単な脳トレやストレッチ、筋力トレーニングを覚えて、地域などの自主活動で実践しませんか。

日時／6 月 21 日（水）13:30～14:30

②大人のよか余暇くらぶ

ソフトドッジボールで、心も体もリフレッシュしましょう。

日時／6 月 23 日（金）19:00～20:30

対象／20～60 歳の方

③休日リフレッシュ教室

リラクゼーションストレッチで、日頃の疲れを癒やしませんか。

日時／6 月 25 日（日）10:00～11:00

場所／健康福祉会館

定員／先着 20 人 参加費／無料

申込先／①③健康福祉会館 ☎ 42-6700

②健康課 ☎ 42-8723

パーキンソン病について

■症状

パーキンソン病は脳の中の神経に異常が起こることで発症しますが、若い人には少なく、通常 40 歳以降で発症します。原因は不明です。

振戦（手足のふるえ）、筋固縮（筋肉のこわばり）、無動、動作緩慢、姿勢反射障害はパーキンソン病の主な症状であり、4 大症候と言われています。発症後数年すると、表情が乏しくなったり、前屈姿勢で歩幅が狭くなったりするなど、姿勢反射障害の典型的な症状が現れます。それらは運動症状と言われます。

4 大症候以外にも、すくみ足（足が床に張り付いたようになって一歩が出なくなる）などの症状も出ます。また、運動以外にも自律神経症状（便秘、排尿障害、起立性低血圧、発汗異常）や感覚症候（嗅覚低下、痛み、しびれ感）、不眠やうつ傾向の症状も出ます。

パーキンソン病の診断は、そのような症状の疾患のうち、パーキンソン病でないものとの除外が必要となります。

■検査方法

パーキンソン病は、血液検査や頭部 CT、MRI では特異的な所見は認めません。パーキンソン病と似た症状がみられる主な病気には、脳腫瘍、硬膜下血腫、脳梗塞や脳出血などがあり、これらの病気は CT や MRI で区別することができます。

最近は DAT スキャンや MIBG 心筋シンチなどの検査を行うことで、パーキンソン病の鑑別診断を行うことができるようになってきています。

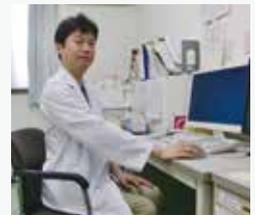
■治療方法

治療の目的は、主に運動症状を軽減し、日常生活に支障のないようにすることです。薬剤は運動症状の増悪とともに増量・追加していきます。

治療薬は効果が実感できるまでに時間がかかることや副作用として精神症状や吐き気などの消化器症状が出る場合もあります。長期間飲んでみると、効果が低下する場合もあります。また、年齢や副作用に応じて処方を変更することもあります。

非運動症状に対しては、それぞれの症状に応じた薬剤で対応します。

パーキンソン病の薬は、薬を中断することで、重い副作用が出る場合がありますので、中断せざるを得ない時には医師や薬剤師に相談してください。



（神経内科部長 横田一郎）

感染症防止ネットワークフォーラム

タイトルは「知って得する肺炎知識」で、家庭や病院・高齢者施設での感染症防止を図ります。

日時／7月5日（水）18:15～19:30

場所／アステアかさい3階多目的ホール

内容・講師

「日常生活に潜む肺炎菌とは?!」岸本達希さん（加西病院・感染管理認定看護師）、「誤嚥性肺炎の予防～嚥下リハの視点から～」和田伸也さん（加西病院・言語聴覚士）

参加費／無料

問合先／加西病院総務課 ☎ 42-2200

第14回加西病院ホスピタルフェア

問合先／加西病院フェア実行委員会 ☎ 42-2200

「行ってみよう 地域と歩む 加西病院」をテーマに、加西病院を体感することができるホスピタルフェアを開催します。

■日時・場所／7月8日（土）9:00～12:00 加西病院

■主な内容

催し：医師の講演、コンサート、抽選会、子ども向けイベント など

医療・介護相談：人間ドック受付、地域連携専門職による医療・介護相談、母乳・育児相談

健康チェック：研修医ふれあい（健康チェック結果説明等）、血圧、血糖、体脂肪、ヘモグロビン量、動脈硬化度、骨密度、ロコモチェック、認知症チェック など

※動脈硬化度・骨密度の料金は、それぞれ 500 円です（動脈硬化度のみ 1 人 1 回の抽選）。

体験コーナー：胎児 4D エコー体験（約 20 週以降の妊婦 6 名程度）、心肺蘇生法、医療者制服着用体験、腹腔鏡手術模擬体験、感染防止手洗い法、電気メス体験、お菓子で「薬」づくり など



電気メス体験をする参加者